



福祉のすずな

新松戸地区社会福祉協議会

第34号
発行 新松戸地区社会福祉協議会
会長 土橋 育郎
事務局 〒270-0034
松戸市新松戸3-27
新松戸市民センター3階
電話 341-9211 (FAX兼用)

新型コロナ禍 疲れたあ〜でも、もう少し頑張ろう

気が付けば、三密を避け、マスク、手洗いの励行を当たり前のように続けて一年が過ぎてしまいました。

新松戸地区社会福祉協議会（以下新松戸地区社協）も松戸市社会福祉協議会から「新型コロナウイルス感染症拡大防止」の要請を受け、令和二年度の評議員総会は新松戸市民センターでの開催に替へ書面議決とし、また、ほとんどの事業を中止する一年となってしまいました。

新型コロナウイルス感染症拡大はもはや深刻な災害となつています。不要不急の外出の自粛、人と人がふれあう機会も自粛という日々が続く中、多くの方が不安やストレス

を高めているのではないのでしょうか。このような状況の中で、新松戸地区社協として、何かできることはないかを議論し、ふれあい会食会に替えてお弁当の配食、結婚50年祝賀会に替えてご夫婦記念写真撮影会、友愛年賀状等の活動を行いました。

地区社協は、災害時に共助の一端を担う組織ですが、今回のように人と人との接触が制約される条件の中では、従来の直接的なふれあいを中心とした活動は、十分に行うことは出来ませんでした。

しかし、長引くコロナ禍、リバウンドを警戒するなかで、これからは孤立し精神的疲労が蓄積する恐れがあります。自分一人では対応するのではなく、地域で助け合う新しい「ふれあいのカタチ」を探り出し、行つかが今後の課題です。

ふれあい会食会の会員の皆さま（70歳以上の一人暮らしの方）にアンケートに答えていただきました。多くの皆さまから、買物通院以外の外出はなるべく控え、旅行やお友だちとの交流も自粛していると回答がありました。

『コロナ禍での生活』
「ぼやく！
大変な世の中になつたなあ〜。マスク、うがい、手洗いをしながら不安な気持ちで毎日を暮らしている。この一年ごへも出掛けられないし、マンシヨンの人達とも交流がない。本当につまらない一年だった。」

「八二歳、「基礎疾患」と「高齢者」にバッチリ。自粛生活そのもので、冬眠している感じ。」

「人との接触避けるようにしているが、家に引きこもらず自転車で1時間くらい散歩している。テレビ、パソコン、縫物、折り紙、たまに少数で会食など楽しんでいる。毎朝、家にてラジオ体操その後ストレッチ三〇分。家事の後ウォーキング三〇分、買物、電話にて友人と会話。」

おすすめ散歩道 桜と菜の花と電車・新坂川緑道

外出自粛が続く中、体力維持・気分転換のため買物ついでに散歩をされている方は多いようです。そんな散歩道の一つとして新坂川緑道コースはいかがでしょうか。もちろん周りの人との距離はとりマスクをして。

スタートは新松戸駅前大橋脇の新坂川親水テラス、二〇一八年に完成、朝市な

どのイベントが開催されるかがあります。ここから馬橋駅まで新坂川沿いに約一五キロメートルの散歩道です。歩き始めて二〇メートルほどで横切るアメリカふう通りに架かる新幸谷橋は、鉄道の撮影スポットになっているようで、時々鉄道ファンが大勢カメラを構えて集まっています。通りを渡つた先から遊歩道になります。

左手から東側の台地の雨水等を排水する水路が流れ込んで来る辺りでは、カモやカワウ等の水鳥をみかけます。この先から右手は川面に掛かる桜、左手は流鉄の線路敷きに咲く菜の花、時々走つてくるカラフルな流鉄の電車と絵になる風景が四〇メートルほど続きます。歩き足りない場合は、馬橋駅の自由通路で東口に出て旧水戸街道の古刹「万壽寺」に参拝してはいかがでしょうか。

また、疲れた場合は、馬橋駅から流鉄線に乗って幸谷駅にもぐることも良いでしょう。片道一三〇円です。



沢山の回答

地域福祉フォーラム あらたな地域福祉社会の実現へ

「地域福祉フォーラム」とは、誰もが、ありのままに暮らすことができる新たな地域社会づくりの実現のため、地域福祉に関係する団体や個人が参加・協働し、地域づくりのあり方、取り組み方を考える場として、平成一六年「第一次千葉県地域福祉支援計画」において提案されています。

「地域福祉フォーラム」は、誰もが、ありのままに暮らすことができる新たな地域社会づくりの実現のため、地域福祉に関係する団体や個人が参加・協働し、地域づくりのあり方、取り組み方を考える場として、平成一六年「第一次千葉県地域福祉支援計画」において提案されています。

新松戸地域の社会福祉の課題・問題等について、新松戸地区社会福祉協議会を事務局として、地域内の諸団体に協力いただき話し合うところから始めたいと思います。

地域活動助成金 町会の福祉活動を支援しています

町会名	事業名・内容
新松戸1丁目	多人数での会食ができないので、個別にGo to eatに行ってもらった。
新松戸3丁目	敬老の日の集い：70歳以上の長寿者に記念品送付、喜寿・米寿の方にお祝金贈呈。
新松戸4丁目	コロナ禍で少しでも明るい気持ちになるようにイルミネーションを町会会館に取付。
新松戸6丁目	健康維持と見守りを兼ねて脳トレ体操開催。町会会館の会食に替へお弁当を配付。
新松戸7丁目	小学生・幼児の家族にクリスマスケーキとプレゼントを町会会館で配付。
サンライトパストラル七番街	子供たちへハロウィン、クリスマスプレゼント。子供を通しての居住者交流。
サンライトパストラル八番街	長寿をお祝いして商品券をプレゼント。
コミュニティ五番街	75歳以上の会員に月1回「カレーを食べる会」開催。コロナのため宅配方式で実施。
サンライトパストラル八番街	コロナ禍の外出自粛下、住民の気持ちを和ませるためイルミネーション点灯。
南パークハウス	茶話会、隔月1回ひとり暮らしの高齢者の語り合い、親睦の場を提供。
東パークハウス	敬老の日の集いができないため、75歳以上の方に紅白まんじゅうを記念品として配付。
中央パークハウス	敬老の日に75歳以上の方、喜寿、米寿の方にお祝いを贈呈。
ファミリーハイツ	敬老のお祝：75歳以上の方に記念品を集会所で贈呈し、コミュニケーションを図る。
アゼリアパークハウス	クリスマスイルミネーションを点灯式を明るく楽しい環境づくりのため中庭で開催。
新松戸東	茶話会：新型コロナウイルス予防、折り紙（頭の体操）などを行う。
プライヴ	敬老お祝い会：70歳以上の方々への感謝、住民相互のコミュニケーションを図る。

本年度の各町会の福祉活動はコロナ感染防止に配慮や工夫が必要で苦勞されたと思いますが、一例として、地域福祉活動助成金申請にある活動を一覽にしました。

- ① 地域での子育て支援・子ども見守り活動
 - ② 防犯・防災ネットワーカーの構築
 - ③ 誰もが気軽に立ち寄れる場所の整備
 - ④ 地域住民の自助・共助ネットワークの構築など
- なお、ご意見等がありましたら、事務局までお寄せください。

令和2年度の活動実績

コロナ禍のため活動が制約されましたが、少しずつ活動を再開しました。

令和2年度 評議員総会

令和2年5月14日に開催を予定していた評議員総会は、新型コロナウイルスの感染防止のため書面決議としました。各号議案とも賛成多数で原案通り可決されました。

令和元年度決算

科目	金額
1) 市社協助成金	150,000
2) 市社協交付金(社協会費配分金他)	1,714,300
3) 広報活動助成金	274,200
4) 歳末たすけあい募金配分	200,000
5) ふれあい会食会等参加者負担金	297,800
6) その他	103,152
当期収入合計	2,739,452
科目	金額
1) 運営費(会議費・コピー代・通信費等)	503,851
2) 事業費	
①ふれあい会食会	486,948
②広報費	207,900
③地域福祉活動助成金	335,100
④各種事業費	774,334
(ふれあい広場・グラウンドゴルフ大会等)	
⑤新規事業費	0
3) 交際費	41,130
4) 備品費他	196,215
5) 予備費	0
当期支出合計	2,545,478
当期収支差額	193,974

令和2年度予算

科目	金額
1) 市社協助成金	150,000
2) 市社協交付金(社協会費配分金他)	1,848,100
3) 広報活動助成金	274,200
4) 歳末たすけあい募金配分	200,000
5) ふれあい会食会等参加者負担金	292,000
6) その他	40,100
当期収入合計	2,804,400
科目	金額
1) 運営費(会議費・コピー代・通信費等)	530,000
2) 事業費	
①ふれあい会食会	555,000
②広報費	210,000
③地域福祉活動助成金	340,000
④各種事業費	926,000
(ふれあい広場・グラウンドゴルフ大会等)	
⑤新規事業費	50,000
3) 交際費	50,000
4) 備品費他	120,000
5) 予備費	100,000
当期支出合計	2,881,000
当期収支差額	-76,600

●地区社協運営費・事業費の7割は皆さまの社協会費・募金配分金で賄われています。

結婚50年記念祝賀会 笑顔でツーショット写真

結婚50年記念 祝賀撮影会
一九七〇年、大阪で日本万博が開催。その年に結婚されたカップルが、東京オリンピック開催の年(延期とはなりましたが)に結婚50年を迎えられました。
例年、結婚50年をお祝いする会を市民センターホールで開催してきま

したが、令和2年度はコロナ感染防止のためやむを得ず、代わりに地区社協の記念写真の撮影会を行いました。
記念品の申し込みは四十五組ありましたが、そのうち二十一組の方々が九月二十三日～二十五日の間に密を避けるため時間をずらしながらの撮影を行いました。
わざわざ撮影の間で



したが、表現の仕方は違っても仲睦まじいご夫婦の姿を垣間見ることができました。

ふれあい会食会 手作りお弁当を配食

「コロナ禍により令和二年二月から中止していた市民センターでのふれあい会食会(七十歳以上の一人暮らしの人対象)に代えて、お弁当の配食サービスを九月より始めました。
利用者に地区内に数か所設けた拠点まで取りに来てもらいますが、状況によって個別に届ける方式も併用しました。

お元気ですか。はい、お弁当を食べています。
利用者の声
いつもおいしくいただいています。配色もきれいで楽しみです。
今月はどうもおかずかなど毎月楽しみにしています。
外食も出来ないの、月一回のお弁当がうれしいです。
配食でちよつと会うだけ、一言二言こぼすかわずだけでも楽しいです。
その他にも多くの皆さまから美味しい、楽しみになっているという声をいただ



いただきました。
緊急事態宣言により一月から中止となっていました。解除後に再開を予定しています。

友愛年賀状 毎年楽しみにしています ありがとうございます

地域の高齢者と子どもとの交流事業です。新松戸地区内の小学生から「ふれあい会食会」会員への年賀状で、地区内の小学校に順番にお願いしていますが、本年度は横須賀小の六年生にお願いしました。
年賀状を受取った皆さまからの感想・返信です。
初めて届いた時はどこからかの間違い?とビックリしましたが、毎年いただいて癒やされています。ありがとうございます。
「コロナに負けないで頑張ってください」という年賀状をいただきました。とても「力」をもらいました。
九十歳を過ぎているの



で年賀状も少なく、小学生からの年賀状はとても嬉しいです。一生懸命、心を込めた文と絵に感謝しています。
毎年ありがとうございます。感謝しています。どんなお子さんが書いてくれたのかなと想像して...
カラフルなイラストもいっぱい楽しさが伝わりました。

事務局からのお知らせ

「車いす無料貸し出し」

通院やお出掛け等で短期間で使用になりたい方に、車いすの貸し出しを行っています。

「使用済み切手」

集めています。お持ち下さい。

「ボランティア募集」

「ふれあい会食会」「ひよっこ広場」「いきいきサロン」「広報紙の発行」など地区社協が行う事業に、お手伝いいただける方を募集しています。

連絡先：新松戸市民センター3階
新松戸地区社会福祉協議会事務局
TEL 341-9211 (FAX兼用)
E-mail: shinmatsudo@matsudo-shakyo.com

「子ども達と地域がながる」 さつまいも収穫

「キヤ〜虫がいる〜」「キヤ〜カエルがいる〜」「気持ち悪い〜」
「虫を殺さないで〜」などの声。
さつまいも畑のつるをはがしていくと、いつもの子ども達の歓声が聞こえてきます。
今年で、四回目。新松戸小学校横にある畑に四月から植えたさつまいもが今年も元気に育ちました。
この畑は、地元地主さんのご好意によりお借りしたもので、さつまいもを植えてきました。
最初の頃は、土が固く横に育つさつまいもが多かったのですが、年数を重ねると土がサラサラになり、さつまいもが縦に実るようになりました。
ホクホクして味も格段においしくなり、大好評でした。



五月 補植
六月〜九月 雑草取りや水遣りのメンテナンス作業
つる返し(西小学校一年生と五年生も参加)
十月 収穫
収穫には西小学校一年生と五年生、学童、子供会等の子ども達が、各々約100名参加してくれました。
「坂川の花桃を愛する会」の有志の方々が、植え付けから収穫までを見守りました。